



令和元年 12 月号

伊勢市青少年相談センターだより

伊勢市青少年相談センター 伊勢市小俣町元町540 小俣総合支所1階 社会教育課

TEL 0596-22-7894 FAX 0596-23-8641 s-soudan@city.mie.jp



- 安全に気をつけて生活を送らせましょう！
道路で遊ばせない、自転車の乗り方など交通ルールを守らせ、買い物などの用事は明るいうちにすませ、早めに帰宅させましょう。
- 出合いやふれあいをより広げさせましょう！
できるだけ、地域の行事などに参加させて体験的な学習をさせましょう。

街頭啓発活動に参加しました

11月中の「子ども・若者育成支援強調月間」にあわせた啓発キャンペーンが実施され、伊勢市青少年相談センターも参加しました。

☆ 11月1日（金）午前7時30分から、近鉄宇治山田駅前において「未成年者喫煙防止啓発キャンペーン」が実施されました。JT津支店、たばこ販売協同組合津・伊勢支部、南勢児童相談所、南勢少年サポートセンター、青少年相談センター等の関係者により、青少年を対象に啓発用ポケットティッシュを配布して未成年者の喫煙防止を呼びかけました。

☆ 11月1日（金）午後3時30分から、みそのショッピングセンターにおいて南勢児童相談所、南勢少年サポートセンター、立入調査員、伊勢市青少年相談センター等の関係者により、買物客に啓発用ポケットティッシュを配布して非行防止を呼びかけました。



冬休み中の非行防止について

学校は、まもなく冬休みを迎えます。子ども達にとっては、「冬休み」と聞いただけで楽しみや期待感で胸躍る気分になるのではと思います。気のゆるみから誘惑に負け、深夜徘徊、万引や喫煙、飲酒などの非行に走ってしまう可能性が有ります。子ども達が、非行への誘惑や不審者などの誘いに負けない強い気持ちで休みを送れるよう学校・家庭・地域社会が温かく見守り、アドバイスをしていきましょう。

○ 規則正しい生活を送らせましょう！

クリスマス、正月のクラス会などで、保護者の付き添い無しで小中学生だけでカラオケ店へ行ったり、午後10時を過ぎての深夜徘徊、友人宅への無断外泊、飲酒、喫煙等を絶対にさせないようにしましょう。『生活のきまり』を守らせ、早寝早起き、学習と遊び時間のけじめなどを守らせましょう。

12月 青少年の日 5日 家庭の日 15日

全日制・定時制高校減少も通信制高校は増加？

文部科学省の調査によれば、平成30年度の高校への進学率は98.8%と高い水準ですが、少子化により高校入学者数は、毎年約1万人が減少して、学校数も減少傾向です。しかし、全日制・定時制高校が減少していく中で、通信制高校は増加しました。特に私立の通信制高校は大きく増加しました。今、約17人に1人が通信制高校の生徒です。

全日制高校や定時制高校は、毎日登校することや、時間割どおりに授業を受けることが求められます。また、出席日数不足や成績不振のため、必要な単位が足りなければ留年になります。しかし、通信制高校は、公立であれば、登校頻度は月1・2回、私立であれば、週1回の登校や年1回の合宿に参加するなど登校形式を選ぶことができます。自学自習が原則ですから、クラスメイトとの人間関係にわずらわされることなく、自分のペースで勉強に集中することができます。また、学年制でなく単位制なので、いつからでも編入でき、単位を落としても留年はなく、落とした単位を取り直せばいいだけです。3年以上かかっても卒業できます。このような通信制高校のメリットに気付いた「いじめ」「発達障害」等で不登校になり、全日制高校を中退した生徒が、通信制高校を利用するようになったと言われています。また、平成16年から、小泉内閣の構造改革により、学校法人だけでなく株式会社も高校を設立することが可能になりました。私学助成金が受けられないかわりに従来の学校よりも校舎や運動場の施設条件がゆるくなり、学習指導要領に基づく必要もなくなったので、その特徴を生かした様々な私立の通信制高校が急増しました。今、通信制高校は、高校中退者の編入先だけでなく、全日制高校では実現が難しいスポーツや芸能に時間を使いたい若者とか、何か専門的な知識や技能も身につけたい若者のニーズにも対応できる新しい学びの場になったと言えそうです。